

(記載例)

教育研究実績 (研究者教員)

I. 研究業績

論文

1. 熊本太郎 (19XX), ○○○○○○○○○○○○. 熊本大学教育学部紀要, 34, 人文科学, 134-142.
2. 熊本太郎, 福岡二郎 (200X), ○○○○○○○○○○○○-○○○○○○○○○○○. 日本○○学会誌, 25 (2), 112-120.
3. Kumamoto T. and Fukuoka J. (200X), Trends in self-reported HIV risk behavior-injection drug users in Kumamoto. *AIDS Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes*, 20, 325-329.
4. Kumamoto T., Fukuoka J. and Kuro M. (200X), Trends in self-reported HIV risk behavior-injection drug users in Kumamoto. *AIDS Journal of Acquired Immune Deficiency Syndromes*, 20, 325-329.

著書

1. 熊本太郎 (19XX), 読み方授業のための教材分析. ○○出版.
2. 熊本太郎 (19XX), ピアジェ理論を適用した新しい算数教育. 山田五郎 (編) 子どもと新しい算数. ○○出版, 58-73.
3. 山田五郎 (編) (19XX), 化学系実験の基礎. ○○出版.
3-1. 熊本太郎, フッ化水素の実験室的製法. 35-40.
3-2. 福岡二郎, 熊本太郎, BASIC による化学実験シミュレーション. 135-166.

翻訳書

1. ホール P. H. / 熊本太郎, 福岡二郎 (訳) (19XX), エイズ防止対策. ○○書店.
Hall P. H. (19XX), *AIDS and HIV prevention*. Bxxxx, New York.
2. 熊本太郎 (19XX), 幼児期における音楽の知覚と認知の発達. ヤング G. E., ゴードン A. / 福岡二郎, 広島五郎 (監訳), 音楽の知覚と認知. ○○書店, 83-98.
Young G. E. and Gordon A. (19XX), *Perception and cognition of music*. Bxxxx, New York.
3. ジョーンズ D., ウイルソン H. / 福岡二郎, 広島五郎 (監訳) (19XX), スポーツ指導ハンドブック. ○○書店.
3-1. 熊本太郎, スポーツ指導における事故防止. 22-34.
3-2. 熊本太郎, スポーツとフィードフォワード制御. 53-65.
3-3. 福岡二郎, 熊本太郎, スポーツとイメージトレーニング. 213-226.

Jones D. and Wilson H. (19XX), *Sports training reconsidered: A handbook*.
Bxxxx, New York.

辞書（辞典，事典）

1. 神田文雄(監)上野公男，大塚典男(編)(2005)，国語教育大辞典．お茶の水書房．
熊本太郎，言語生活主義．320-321；国語教育．342；国語単元学習．356；作文
教育．382；児童文学．402-403；標準語．547.

芸術活動（演奏・指揮・作品等の該当する見出しに変える）

1. 熊本花子(19XX)，○○○○○○○○○．第○回○○○作品展，○○○美術館．
2. 熊本太郎(19XX)，ケルン大聖堂．油彩画 116×90.9cm，○○賞受賞，第25回国
際○○美術展，○○○ホール．
3. 熊本太郎(19XX)，海女．像高 150cm ブロンズ，第○回美術展，東京○○○美術館．
4. 熊本太郎(19XX)，熊本女性合唱団指揮：アヴェ・マリア(カーンP.作曲)．第12回
全国女性合唱団定期演奏会，上野○○○ホール．
5. 熊本太郎(20XX)，作曲：○○○○○○○(20x1)．(第○○回○○○国際音楽コンク
ール作曲部門特別奨励賞受賞作品)，第○○回国際○○音楽祭，ソウル○○ホール．
6. 熊本太郎(20XX)，作曲：○○○○○○○(20x2)．作曲部門特別奨励賞受賞，第14回国
際○○○音楽祭，東京○○ホール．
7. (19XX)，九州演奏家協会第○○回定期演奏会，福岡国際ホール．
7-1 熊本花子，独唱：愛の喜びは(マルティニー作曲)．
7-2 熊本花子，佐賀和子，二重唱：夢より(フォスター作曲)：ロンドンデリーの
歌(アイルランド民謡)．
7-3 佐賀和子，熊本花子，長崎聖子，三重唱：サウンド・オブ・ミュージック．
8. (200X)，第○回熊本太郎○○○リサイタル，熊本県民文化会館大ホール．
8-1 熊本太郎，バイオリン演奏：ラルゴ(ベラチーニ作曲)；バイオリンソナタ第
5番「春」Op. 24(ベートーベン作曲)；バイオリンとピアノのためのロマン
ティックな小品 Op. 75(ドボルザーク作曲)；チゴイネルワイゼン(サラサーテ
作曲)．
8-2 熊本太郎，佐賀和子，福岡二郎，長崎聖子，弦楽四重奏曲第1番
F-Dur Op. 18-1(ベートーベン作曲)．
(注1) 一つの演奏会等において，複数の業績がある場合には，「同一著書中に複数
の分担執筆がある場合」(著書)の様式に準じて記載する(例7，8)．
(注2) 同一曲目による演奏会は、開催された日又は場所が異なる場合には、各々を
1回とみなす。

体育活動（運動歴，指導歴等）

1. 熊本太郎(19XX)，種目：クラス・級．第○位，第○回○○○○○大会，(開催地)．
2. 日本代表チーム(熊本太郎他)(19XX)，種目(位置：センター)．第○位．第○回
○○○○○大会，(開催地)．

その他の研究報告等

1. 熊本太郎 (19XX), 熊本県民の生活環境に関する意識調査. 熊本県民意識調査報告書, 熊本県, 117-145.
2. 福岡二郎, 熊本太郎, 佐賀三郎 (200X), イオン高速輸送機能をもつ固体の創製と評価. 平成〇年度科学研究費補助金(重点領域研究)研究報告書, 1-135.
3. 熊本太郎 (19XX), エイズ予防について. 性教育, 45, 153-157.
4. 熊本太郎 (20XX), 中学校におけるインターネット教育のあり方について. 熊本県教育技術研究会誌, 35, 54-62.

学会発表論文集(抄録集)掲載論文

1. 熊本太郎 (19XX), 〇〇〇〇〇〇〇〇. 日本〇〇学会第〇〇回大会発表論文集, 456.
2. 熊本太郎, 福岡二郎 (19XX), 〇〇〇〇〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇. 日本〇〇学会第 35 回大会発表抄録集, 637-638.
3. Kumamoto T. and Fukuoka J. (20XX), Magnetic evidence concerning a Lunar core. Proceeding of the 32th International Lunar Science Conference, 1254-1257, Los Angeles.

特許

1. Kumamoto T.(19XX), Method of and apparatus for fault detection in digital circuits by comparison of test signals applied to a test circuit and a faultless reference circuit. No.〇〇〇, U.S.A..
2. 熊本太郎 (19XX), 相関法による回路検査法. 特許〇〇〇〇〇号.

学会における活動

1. 九州〇〇学会会員 19XX 年 月 -現在
2. 日本〇〇学会会員 19XX 年 月 -現在 (19XX 年 月-19XX 年 月まで「〇〇学会誌」編集委員)
3. 日本〇〇学会会員 20XX 年 月 -現在 (20XX 年 月-20XX 年 月まで評議員)

社会的活動

1. 〇〇市教育委員会〇〇運営審議会委員 19XX 年 月 -19XX 年 月 (19XX 年 月-19XX 年 月まで委員長)
2. 〇〇市〇〇保健所〇〇審議会委員 19XX 年 月 -現在 (19XX 年 月-19XX 年 月まで副委員長)
3. 〇〇県〇〇運営委員会委員 19XX 年 月 -現在

4. ○○県○○審議会委員 20XX年 月 –現在(20XX年 月–20XX年 月まで
委員長)

Ⅱ. 教 育 業 績

教育方法の実践例

1. 熊本太郎(19XX), (事項) ○○○○○○○○○○○. (概要) ○○○○○○○○○○.

作成した教科書, 教材

1. 熊本太郎(19XX), (事項) ○○○○○○○○○○○○○. (概要) ○○○○○○○○○○.

その他実務の経験を有する者についての特記事項

1. 熊本太郎(19XX), (事項) ○○○○○○○○○○○○○. (概要) ○○○○○○○○.